資料３－１

平成２７年度第１回　オールみよし推進会議
平成28年3月28日

地域ケア会議について

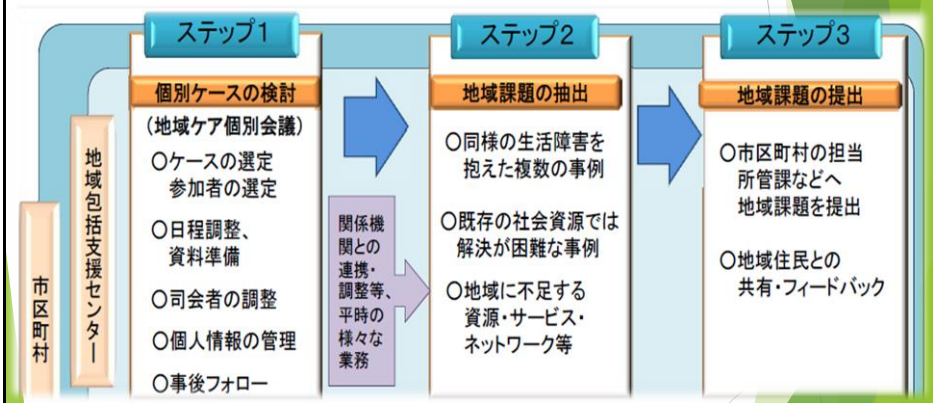
みよし市　高齢福祉課

地域ケア会議とは？

・高齢者個人に対する支援の充実
・それを支える社会基盤の整備

を同時に進めていく、
地域包括ケアシステムの実現に向けた手法
BY.厚生労働省

地域ケア会議の流れ☆



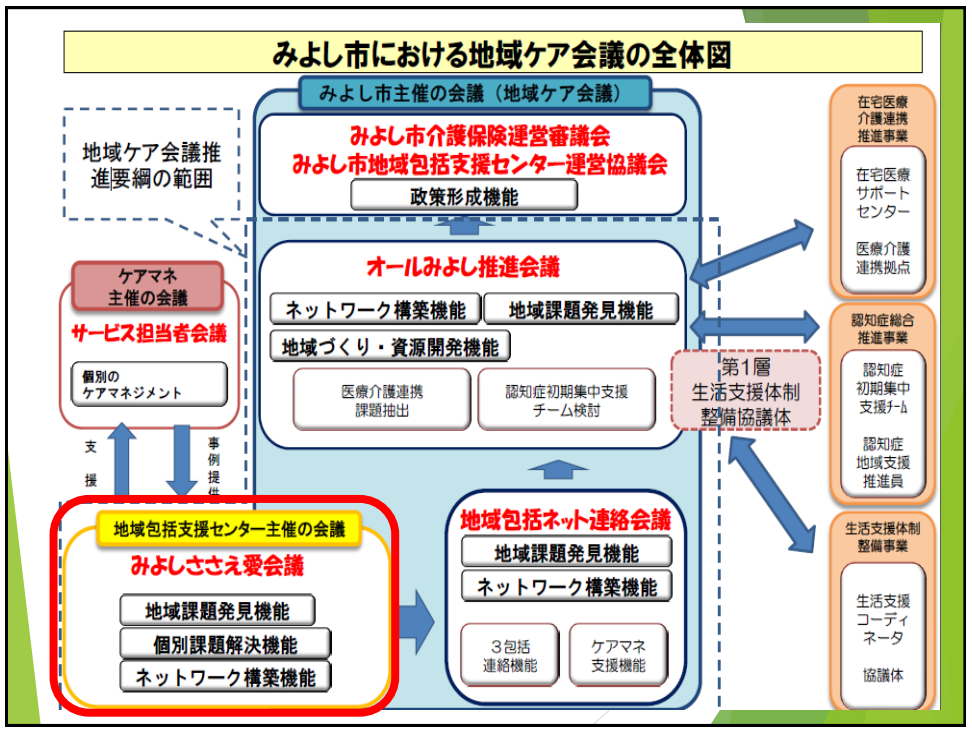
みよし市における
地域ケア会議とは？

２つの地域ケア会議

・**個別地域ケア会議**
（みよし市ささえ愛会議）

・**地域包括ケア推進会議**
（オールみよし推進会議）

個別地域ケア会議
（みよしささえ愛会議）



①個別地域ケア会議（みよしささえ愛会議）

- 具体的な支援方法等を検討する会議
- 関係者（ケアマネジャーや在宅介護支援センター等）から相談を受け地域包括支援センター職員が中心となり、支援の対象者に関わる人を招集
- 会議の参加者
  本人や家族、福祉や医療の専門機関、
  地域支援者（民生委員、隣人）、その他関係者等

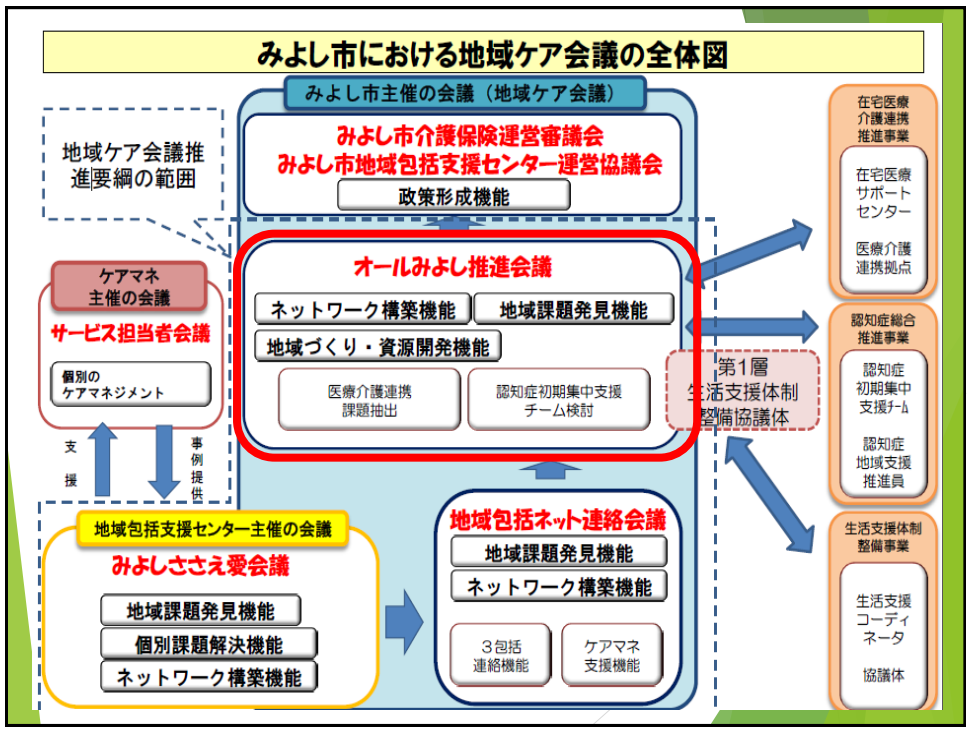
⇒事例にあせて、その時々に必要なメンバーで構成

地域課題の発見

個別課題の解決

ネットワークの構築

地域包括ケア推進会議
（オールみよし推進会議）



②地域包括ケア推進会議（オールみよし推進会議）

- みよしささえ愛会議や地域包括ネット連絡会議等で抽出された課題を整理・解決し地域包括ケア体制を推進するための会議

- 検討事項

●総合的な整備に関すること
●体制整備に必要な社会資源に関する情報の集約及び提供に関すること
●地域の課題及びその共有化に関すること
※その他
●在宅医療・介護連携推進事業に関すること
●認知症総合支援事業に関すること

なぜ今“オールみよし”が必要なのか？

高齢者を取り巻く問題の多様化

↓

**「一人だけが頑張る
誰かが支援してくれる」
の限界**

共にがんばりましょう